

# 世界教室

## WORLD SCHOOL



Where We Stand As One  
<http://www.world-school.com>



学校法人 関東国際学園

## 関東国際高等学校

〒151-0071 東京都渋谷区本町三丁目2番2号  
電話 03 (3376) 2244 FAX 03 (3376) 5386



## 世界教室とは



### International Forum (インターナショナルフォーラム)

1997年(平成9年)に関東国際学園理事長 松平正樹により始められました。目的は、国際交流の機会を提供することによって、世界中の青少年や教員たちが共有できる真に国を越えた教育の組織を作ることです。学生たちが「世界標準」という考え方を受け入れ、彼らが理想とする教育施設とカリキュラムを兼ね備えた、地球的視野をもった学校を自らの手によって作り出すことができるようサポートしています。



世界教室は様々な活動をしています。世界20の国と地域の23校が現在メンバー校となっており、インターネットを通じての交流や、メンバー校間での交換留学など様々な国際交流活動をしています。その他、海外大学留学情報を提供し、サポートしています。世界教室の活動の中で最大の行事は「World School International Forum」(「世界教室」)です。世界各地のメンバー校から若者が集い、世界教室の目的である理想の学校作りを目指すものです。国や文化の枠を超えて友情を育み、「世界教室」後も交流を続けています。こういった活動を通して、世界教室は発展を続ける国際社会に必要とされる様々な知識や技術を、生徒たちに提供しているのです。

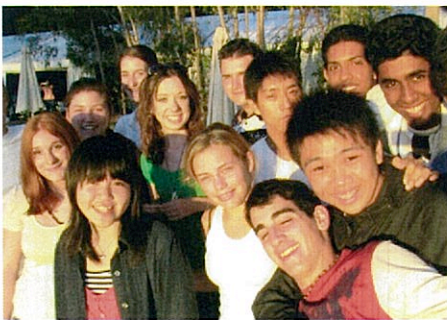


世界教室のHP(英語のみ)

<http://www.world-school.com/>

### <世界教室の活動>

#### インターナショナルフォーラム



世界約20の国と地域の学生が年に一度、一堂に集い相互交流を通して文化理解を深め、テーマに沿って真に国を超えた教育の新しい姿を学び合う体験学習

#### 海外大学留学クラス



ネイティブ教員を中心とした集中的な語学学習、プレゼンテーション能力を育むカリキュラム、TOEFL対策や充実した進路指導によって「海外大学進学」という夢を現実にするクラス

#### 海外研修・国際交流



～12カ国へ出かける関東生～  
イギリス語学研修  
イタリア交換留学プログラム  
普通科海外研修旅行  
外国語科海外短期留学



## WSS (World School Society) ～世界への窓～

World School Society は、世界を知り、国を越えて友情を育む、世界教室の窓口となる生徒の活動です。



年間のテーマについて調べたこと、考えたことを世界の仲間とディスカッションしたり、プレゼンテーションを行なう機会があり、視野を広める良い機会となります。



ロシア・南アジア・イタリア・オーストラリアなど世界各地からの学生を受け入れ、文化交流会を行ないます。世界の文化を学びながら、日本の文化についても再発見があります。



国際フォーラムの開催時には、代表生徒や生徒スタッフとなって、世界の友人と生活を共にしながら、フォーラムを盛り上げ、一生忘れられない経験ができます。



その他、世界の国々について調べて展示ブースを作成したり、インターナショナルスクールや大使館、観光局を訪問し、世界を知る楽しみ、喜びを味わうことができます。



生きた言語に触れる体験は学びの原動力



世界中の友人と世界市民としてのスキルを身につける

## 世界教室 国際フォーラムの歴史

世界教室 2008	『世界教室 2008』は、平成 20 年 10 月 20 日～11 月 1 日の 13 日間開催。 「環境：食と安全」をテーマに、現代の生活や技術の発展、グローバル化によって生ずるさまざまな問題について、「水の利用」「遺伝子組み換え生物」「フードマイル」というトピックを中心に議論し、模擬裁判という形を通して、現在起こっている問題を認識し、その解決法や課題を考察していきました。
世界教室 2007	『世界教室 2007』は、平成 19 年 10 月 22 日～11 月 3 日の 13日間開催。 「環境：食と健康」というテーマに、現代の生活とグローバル化によって生ずる問題や影響、そして解決法について考察し、個々で得られた知識や技術をいかに次世代に伝えていけるかを課題として、さまざまな議論を重ねて、最後には宣言としてとりまとめました。
世界教室 2006	『世界教室 2006』は、平成 18 年 10 月 15 日～10 月 28 日の 14 日間開催。 本校の提携校であるオーストラリアのセントポールズ校にて開催されました。セミナーでは『環境 ～持続可能な都市社会の構築～』というテーマのもと、ディスカッションを行い、「宣言」として成果をまとめました。
世界教室 2005	『世界教室 2005』は平成 17 年 10 月 24 日～11 月 5 日の 13 日間開催。 デジタル情報化社会を見据え、「コミュニケーション・21 世紀におけるメディア・リテラシー」というテーマでディスカッションを行いました。世界を取り巻く多様な情報メディアを正しく理解するための技術を習得するとともに、ここで得られた技術をいかにして次世代に伝えていけるかといった側面から、新たな授業プランを作成し、発表されました。
世界教室 2004	『世界教室 2004』は平成 16 年 10 月 4 日～10 月 16 日の 12 日間開催。 本校の提携校であるイギリスのインヴィクタ・グラマースクールと、ドイツのコペルニクス・ギムナジウムにて開催。 セミナーでは『世界経済の中で暮らし、働く』というテーマのもと、参加者による活発な議論が行われ、統合化が進む EU 圏の経済状況を理解し、そのような経済環境の中で若者が主体的に働くためにはどのようなスキルが必要かを考えることができました。
世界教室 2003	『世界教室 2003』は平成 15 年 10 月 27 日～11 月 8 日まで 13 日間開催。 セミナーでは「市民権」をテーマについてディスカッションし、「国際市民」としてどうあるべきか、国際社会の一員としての自覚を身につけられる授業プランを作成し、発表されました。
世界教室 2002	『世界教室 2002』は、平成 14 年 10 月 27 日～11 月 9 日の 14 日間開催。 本校の提携校であるアメリカ合衆国テネシー州のリンカーンメモリアル大学にて開催されました。 セミナーでは 2000 年に話し合われた「個人と社会の発達」というテーマに沿って、実際に学校でどのような授業をすればよいか、その授業プランを作成し、数多く発表されました。
世界教室 2001	『世界教室 2001』は平成 13 年 10 月テネシー州リンカーンメモリアル大学にて開催が予定されていましたが、平成 14 年の同時期まで延期されました。
世界教室 2000	『世界教室 2000』は平成 12 年 10 月 24 日から 12 日間開催。 '99 年のセミナーで決めた「未来の学校教育に必要な学問分野」の中から、「国際社会に通用する人間性と社会性の発達」をテーマに、10 グループに分かれてカリキュラムを作成しました。参加した生徒も教員も、グループディスカッションに加わり活発な情報や意見の交換が行われ、国を越えた真の交流が実現しました。
世界教室'99	『世界教室'99』は平成 11 年 10 月 26 日から 12 日間開催。 セミナーでは『30 年後の高校生は何を学び、どのような能力を身につけているべきなのか？』についてディスカッションが活発におこなわれ、大きな成果をあげました。また、誕生寺を訪問してお寺の建築様式などの話を通じて仏教伝来の文化について学び、期間中にミニ運動会、ジャパニーズカルチャーナイト、生徒の家へのホームステイなども行われ、親交を深めることができました。
世界教室'98	『世界教室'98』は平成 10 年 10 月 29 日から 10 日間開催。 本校の学園祭の日程と合わせ、『世界教室』に参加した皆さんも学園祭に参加しました。その他、江戸東京博物館や誕生寺などを訪れ、東京の歴史、日本の仏教の文化について学び、セミナーでは『校則』をテーマにディスカッションが活発に行われ、相互理解を深めました。
世界教室'97	『世界教室'97』は、平成 9 年 11 月 11 日から 9 日間開催。 国際武道大学を訪問して剣道を見学や学校ごとのスクールライフ発表会、展示発表会をして、相互理解を深めました。また、東京ディズニーランドやホームステイ、ミニ運動会で親交を暖めることができました。

- \* 2002年度より1年ごとに海外の提携校で開催することになりました。2002年度はアメリカ合衆国リンカーンメモリアル大学、2004年度はイギリスのインヴィクタ・グラマースクールと、ドイツのコペルニクス・ギムナジウム、2006年度はオーストラリアのセントポールズスクール、2008年度はイタリアのエンリコ・トジ校、2010年度は韓国の養正高校、2012年度はアメリカ合衆国リンカーンメモリアル大学にて開催される予定です。
- \* 本校で世界教室を開催するにあたり、文部科学省、外務省、各国大使館、その他さまざまな団体・企業より後援と協賛をいただいています。

世界の青少年が共に創造する国際教育プログラム

# World School International Forum

世界教室 2009

開催概要

学校法人 関東国際学園

## 関東国際高等学校

〒151-0071 東京都渋谷区本町三丁目2番2号

電話 03 (3376) 2244 FAX 03 (3376) 5386

World School International Forum 2009

## 「世界教室 2009」開催概要

### **The World School 「世界教室」**

「世界教室」は、1997 年に関東国際学園の当時の理事長（現顧問）である松平正樹氏により提唱されました。目的は、国際交流の機会を提供することによって、世界中の青少年や教員が共有できる真に国を超えた教育の組織を作ることです。世界教室を通して「世界標準」という考えを受け入れ、地球的視野を身につけた学生たちが、新世紀の国際社会で活躍する人材へと成長してくれることを期待しています。

### **The World School Mission 「世界教室の使命」**

相互に関連し合う世界で暮らすということは、あらゆる面で地球的視野が必要とされる環境で生活し、働くということを意味します。科学技術の急速な発展によって世界は変化し、その中で私たちは、身近にある文化的境界と行動様式を越え、多文化が共生する現状やまた横断型・融合型研究において機能する「世界標準」を手に入れなければならなくなりました。国際社会において成功するには、次々に生まれる「世界標準」に照準を合わせ続けることが必要であり、また国際的な状況で自らの価値観を表明したり、世界について学んだことを自分達自身の、また生活の一部にすることによって得られる知識を取り込むことによって、「世界標準」の創造過程の一部となることが肝要です。国際社会の一員として、私たちは視野を常に広げるような友情の輪を築くことによって世界について出来得る限りのことを学び、また地球の未来に対して責任感を持つリーダーとして『一緒になって取り組めば、不可能なことは無い』という姿勢を身につけていかなければならないのです。

### **World School International Forum 「世界教室国際フォーラム」**

国際フォーラムは、文部科学省や各国大使館の後援や協賛を受け、1997 年より年に一回の国際フォーラムを開催し、世界中の学校から国および地域の代表として学生たちを招待してきました。

毎年 10 月下旬から 11 月上旬にかけて開催される国際フォーラムに、各メンバー校から 3 人の学生と 1 名の代表教員が国および地域の代表として参加します。参加者は、自国からフォーラム開催地までの交通費のみを負担し、フォーラム開催校がその他の費用を負担します。費用の負担の軽減によって、国際交流の機会を増やすことができ、よりさまざまな国の生徒に参加する機会を与えることができます。それによって、国際理解がさらに深まり、世界の平和と友情につながっていくことを願っています。

主催校：学校法人 関東国際学園

後援：外務省、文部科学省、勝浦市（以上予定）

期間：2009年10月19日（月曜日）～10月31日（土曜日）

日程：10月19日（月曜日）東京・成田空港に到着後、バスで勝浦キャンパスへ移動（勝浦）  
10月20日（火曜日）オープニングセレモニー・基調講演・セミナーイントロダクション（勝浦）  
10月21日（水曜日）メンバー校によるプレゼンテーション①  
東京滞在とホームステイについてのオリエンテーション（勝浦）  
10月22日（木曜日）バスで東京へ移動（江戸東京博物館＋浅草観光含む）  
学園祭展示準備、4泊のホームステイ（東京）  
10月23日（金曜日）学園祭準備（東京）  
10月24日（土曜日）学園祭初日・ブース展示やパフォーマンス・ハンガーバンケット（東京）  
10月25日（日曜日）学園祭二日目・展示ブースにて地元の中学生対象のミニレクチャー（東京）  
10月26日（月曜日）勝浦キャンパスへ移動（セミナー関連の見学を含む）（勝浦）  
10月27日（火曜日）セミナー・メンバー校によるプレゼンテーション②（勝浦）  
10月28日（水曜日）セミナー・メンバー校によるプレゼンテーション③・カルチャーナイト（勝浦）  
10月29日（木曜日）セミナー・メンバー校によるプレゼンテーション④・ディベート準備（勝浦）  
10月30日（金曜日）ディベート・フェアウェルパーティ（勝浦）  
10月31日（土曜日）出発

主会場：関東国際高等学校 勝浦研修施設

〒299-5246 千葉県勝浦市興津 1920 バスフィッシュ・ブリッジ  
ブルーベリーヒル内  
電話 0470 (76) 3811 FAX 0470 (76) 5386

関東国際高等学校

〒151-0071 東京都渋谷区本町三丁目2番2号  
電話 03 (3376) 2244 FAX 03 (3376) 5386

## 内容：中学生の参加

### タイトル：英語を使って世界に友達を作ろう

#### (1) 「食と価値観」について学ぶ

\*10月24日 本校学園祭にてハンガーバンケットを実施。グラウンドのテントにて60名の中学生と60名の世界教室代表生徒が参加して行う。招待状は2～3校の近隣中学校に送る。スペースが限られているので、参加希望は事前に予約してもらう必要がある

#### (2) 「あなたのすべてについて学ぶ」中学生が学園祭に来校し、世界教室参加国・地域について学ぶ

10月25日 9:45-14:15 来校した中学生が世界教室ゾーンを訪れ、代表生徒の国・地域についてより深く学ぶ。約15分 ブース+パフォーマンス

\*Task 1 ワークシートを配布し 各国・地域の主要な情報を提供する

\*展示；ブースでのミニ講義

国、学校、伝統文化的習慣の紹介

参加国・地域によるテーマ「Food and Value」の紹介

(a) メンバー校の生徒の食習慣

(b) 各国における典型的な食事に関して視覚的に紹介

(c) 地域の平均的な家族が1週間に消費する食料の量および種類を視覚的に紹介

\*伝統的なパフォーマンス

\*関東国際高校で学べる各言語が話されている国・地域を代表する食を昼食として提供

## 内容：本校生徒の参加

1. 5月 ホームルーム単位でホストクラスとなり、参加者の国・地域について学習し、その国・地域の代表生徒を受け入れる

\*1年生の全ホームルームが1カ国・地域を担当するホストクラスとなる

\*残った国は2・3年生のホームルームから希望するクラスが担当する

#### (1) 学園祭発表

テーマ:日本とパートナーのフレンドリーなつながり

\*水曜日の国際理解の時間を使う

\*現代日本における各国・地域からのポジティブな影響について調査する

経済、観光、食、言語の分野における影響（政治的および宗教的な問題に関しては議論を避ける）

(2) ホストクラス生徒から優先的にその国・地域からの代表生徒のホストファミリーにする

(3) 各ホストクラスでミニ・ウェルカムパーティーを10月23日に開く

(4) 10月25日の学園祭では、代表生徒が交代で必ず1人は教室にいるようにする

(5) 10月25日の学園祭終了後に、ホストクラスでフェアウェルパーティーを行う



## 2. ホストファミリー

- \*各コースで学んでいる言語を用いる国・地域の生徒のホストファミリーを進んで引き受けるよう生徒に働きかける
- \*ホストクラス以外の生徒がホストファミリーを引き受けた場合、その参加者のホストクラスの教室で代表生徒を引き渡すものとする

## 3. セミナー 環境 食と価値 勝浦 10月20-21日、27-30日

- \*国紹介： 今年のテーマに基づくプレゼンテーションを通して情報を交換する
- \*講義 食の価値 裏側を見る： オクスファム／世界食料機構 貧困と浪費
- \*旬の食材を食すことについての講義 健康や世界規模での持続可能性に関連
- \*ハンガーバンク： その人口を養いされる経済とそうでない経済とで食されている食べ物のギャップを認識する
- \*ディベート： 食と価値のトピックのもと多国籍裁判官として  
生徒たちはそれぞれのグループの観点からの陪審員として審判する  
文化／伝統的なレベルにおける満足感からの観点；経済的観点；環境主義者の観点
- \*異文化間コミュニケーション： 経験の共有、パフォーマンス、異文化交流活動を通して

公用語：英語

参加国および地域： オーストラリア・カナダ・中国・フィンランド・ドイツ・インド・インドネシア  
イタリア・マカオ・ニュージーランド・アメリカ・ルーマニア・ロシア・南アフリカ  
韓国・スリランカ・タイ・トルコ・イギリス・日本など

参加予定校： 20の国および地域より20校

参加者： 各校2～3名の代表生徒（英語での国際交流を強く望む15～21歳の学生）および代表教員1名

### Expenses「費用」

国際フォーラム開催地への往復の交通費は参加者負担となります。開催地となる日本での滞在中に生じる費用は、主催校である関東国際高等学校が負担します。

### Contact「連絡先」

関東国際高等学校  
世界教室ディレクター  
松平 ダリウス  
TEL:813 3376-2244  
FAX:813 3376-5386

参加国及び地域		参加学校名
1	トルコ	ANKARA ANADOLU HIGH SCHOOL
2	ルーマニア	COSTACHE NEGRUZZI HIGH SCHOOL
3	ロシア	FAR EASTERN NATIONAL UNIVERSITY
4	イギリス	INVICTA GRAMMAR SCHOOL
5	イタリア	I.T.C. ENRICO TOSI, BUSTO ARSIZIO
6	日本	KANTO INTERNATIONAL SENIOR HIGH SCHOOL
7	タイ王国	KHEMA SIRI MEMORIAL SCHOOL
8	ドイツ	KOPERNIKUS GYMNASIUM
9	アメリカ	LINCOLN MEMORIAL UNIVERSITY
10	ニュージーランド	NEW PLYMOUTH BOYS' HIGH SCHOOL
11	インド	PADMA SESHADRI BALA BHAVAN SENIOR SECONDARY SCHOOL
12	マカオ	PUI CHING MIDDLE SCHOOL
13	スリランカ	ROYAL COLLEGE COLOMBO
14	インドネシア	SMA KANISIUS JAKARTA
15	フィンランド	SOTUNKI HIGHER SECONDARY SCHOOL
16	南アフリカ	ST. ALBAN'S COLLEGE
17	オーストラリア	ST PAUL'S SCHOOL
18	中国	SUZHOU(SOOCHOW) UNIVERSITY
19	カナダ	TRAFALGAR SCHOOL FOR GIRLS
20	韓国	YANG CHUNG HIGH SCHOOL

イメージ写真：

メンバー校の学生は、学内の平均的な学生が何を食べているか、食べ物に収入の何パーセントを費やしているか、健康や安全、満足度のレベルの関連性を示す調査を学校内で行う。  
ひとつの家庭では、1週間に消費する食糧にかかる費用を計算し、その文化や伝統との関連性を示してもらう。  
その家庭は、1週間の消費物の価格だけでなく、典型的な朝食、昼食、夕食を示すことになる。

日本：小平市 浮田家

1週間の食糧にかかる費用：37,699円または317.25ドル



アメリカ：北カリフォルニア リーバイス家

1週間の食糧にかかる費用：341.98ドル



エジプト：カイロ アフメッド家

1週間の食糧にかかる費用：387.85 エジプトポンドまたは 68.53 ドル



チャド：Bredjing キャンプ Aboubakar 家

1週間の食糧にかかる費用：685CFA フランまたは 1.23 ドル



# 「HUNGER BANQUET」

貧しい食文化の国々へわたしたちができること…



世界の人口は 63 億人と言われていますが、その中で飢餓に苦しむ人々は 9 億 6300 万人に上ります。一方で、日本に暮らす私たちの食生活はどのようなもののでしょうか。飲食店で食事を残せば、残飯として捨てられてしまいます。世界人口の約 6 人に 1 人が日々の食事に困窮している中で、このように食料が有り余っている場所もあることが現実です。

「ハンガーバンケット」とは、参加者全員が世界の貧困レベルに応じて分かれ、それぞれのレベルの「食事」を通して地球上で起こっている不平等の現状を体験することができるユニークなワークショップです。ハンガーバンケットで「飢餓」について学び、自分にできることを考えてみませんか？ あなたの判断や行動が与える影響の大きさを実感することができるはずです！



## 料理イメージ

同じ地球でもこれだけ食事に格差がある…

参加者の皆さんに今の食文化の現状を感じ取っていただけるように、階層ごとに明確な差の料理を提供

### 豊かな国 (HIGH-INCOME)



ハンバーグデミソース  
(セット料理イメージ)



エビフライ(イメージ)

ハンバーグデミソースまたは  
エビフライ(ベジタリアン用)  
のいずれかを選択。

### 普通の国 (MIDDLE-INCOME)



メキシカンビーンズ & コロッケ(イメージ)  
※ワンプレートにて。+ライス、水

### 貧しい国 (LOW-INCOME)



ライスと水のみ

